

大会名 Competition	第37回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-101	Year Month Day Time 2024 年 5 月 3 日 9 : 00
場所 Place	能代市総合体育館

発行：能代市バスケットボール協会
http://ncup.snowland.net



チームA		チームB										
駒大苫小牧	<table border="1"> <tr><td>30 1st</td><td>14</td></tr> <tr><td>27 2nd</td><td>19</td></tr> <tr><td>22 3rd</td><td>20</td></tr> <tr><td>24 4th</td><td>20</td></tr> <tr><td>OT</td><td></td></tr> </table>	30 1st	14	27 2nd	19	22 3rd	20	24 4th	20	OT		能代科技
30 1st	14											
27 2nd	19											
22 3rd	20											
24 4th	20											
OT												
103 ○		73 ●										

主審:Crew chief
大山 忠則 秋田
副審:Umpire
工藤 美香 秋田
諸沢 駿 秋田
テーブルオフィシャル:Table officials
能代高校男子

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
2	×	宮森 昊太	cap	22	6	2	0	0	4	／	佐藤 悠斗	cap	0	0	0	0	2
5	／	遠藤 三太		4	0	1	2	0	5	×	畠山 悠仁		0	0	0	0	1
8	／	佐々木 海波斗		0	0	0	0	0	8	×	吉岡 寿吉		11	1	3	2	2
11	×	小野 翔馬		4	0	2	0	2	9	／	山崎 七星		14	0	7	0	2
12	／	坂井 琉晟		5	1	1	0	2	10	／	鈴木 慶人		0	0	0	0	1
13	／	升屋 杏太		2	0	0	2	1	11	／	宮田 蒼羽		16	2	3	4	3
14	／	大高 孝友		4	1	0	1	0	12		近藤 愛翔		-	-	-	-	0
20	×	オウロ マーベラス オルトヨシ		24	0	12	0	0	13	×	安藤 璃琥		4	0	2	0	1
24	／	野中 友惺		0	0	0	0	0	14	／	名古屋 蒼良		9	2	1	1	1
25	×	浅利 蒼空		6	0	3	0	1	15	／	熊澤 隼		2	0	1	0	0
29	／	佐々木 琉椰		8	0	4	0	1	16	／	下田 瑛斗		0	0	0	0	1
55	／	袋井 想之介		2	0	1	0	0	17	／	金 隼輝		2	0	1	0	0
61	／	阿部 日向大		14	3	0	5	0	18	×	松田 来翔		5	1	1	0	1
65	×	荒川 隼輝		8	0	4	0	0	19	×	信太 虹輝		10	2	2	0	3
66	／	小林 雅楽		0	0	0	0	0	20		大嶋 遥佳		-	-	-	-	0
コーチ		田島 範人						0	コーチ		長谷川 聡						0
アシ		山田 友哉						0	アシ		遠田 貴大						0
合計				103	11	30	10	7	合計				73	8	21	7	18

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P率 インシュート 2P:2P率 インシュート FT:フリースロー F:ファウル

Score ranking [Team]

1	24	23.30%	オウロ マーベラス オルトヨシ
2	22	21.36%	宮森 昊太
3	14	13.59%	阿部 日向大

1	16	21.92%	宮田 蒼羽
2	14	19.18%	山崎 七星
3	11	15.07%	吉岡 寿吉

Score ranking [Game]

1	24オウロ マーベラス オルトヨシ	駒大苫小牧	2	22	宮森 昊太	駒大苫小牧	3	16	宮田 蒼羽	能代科技
---	-------------------	-------	---	----	-------	-------	---	----	-------	------

第37回大会の皮切りは北海道の雄、駒大苫小牧と能代科技の対戦。能代科技は3年生のいない布陣で臨む。

駒大苫小牧はセンターの#20オウロトヨシにボールを集め、小柄な1、2年生だけの能代科技を翻弄、あっという間に点差を広げる。1Qは30-14。能代科技高復活への苦しい道のりが始まった。

2Q、能代科技は中を攻められず、外から狙うが散発。しかし、全てのプレイが明日に向かっての道程となる。ディフェンスでも思いきりよくダイブしてボールを奪うなどいいプレイも垣間見られた。前半結果は57-33。

3Q、点差を少しでも縮めようと追いかけるが高さの差はいかんともしがたい。残り5分に#20オウロトヨシがベンチに戻ってからは一進一退の展開が続き徐々に加点、良いプレイも出てくるようになった。79-53。

4Q、駒大苫小牧#20オウロトヨシは下がったまま。日本人同士の戦いになるとサイズの違いはあれどほぼ互角。思い切りの良さも出てくる。ボールの回しも速くなっていく。この一戦一戦が将来の糧になるに違いない。103-73、この点差が全てのスタートになる。